

# 資料1

20210710 理事会資料（審議） 各本部常設委員会方針と編成（2021&2022 年度）

No 1	総務委員会	
業務方針	1. 総務部会 ・スポーツ団体ガバナンスコード対応  2. 法務部会 ・銃刀法対応—AP 枠拡大 ・コンプライアンス強化  3. 財務部会 ・予算進捗管理—強化事業予算管理  4. 広報部会 ・ホームページ運営 ・機関誌ライフスポーツ発行 ・SNS を通した情報発信  5. 国際部会 ・会長サポート（ASC 副会長） ・IF、AF の役員、委員ポスト獲得活動サポート	
委員長 横山 幸子  副委員長 小風 明	総務部会 部会長：横山 幸子  法務部会 部会長：小風 明  財務部会 部会長：大木 盛義  広報部会 部会長：門間 健一  国際部会 部会長：藤井 彌	大野 明敏、佐橋 朋木、 近藤 正晃、穂刈 美奈子、 松島 愛、田口 亜希、 栗生 由紀、森田 益行、 平澤 卓也、津場 恭平、 谷川 諒

No 2	推薦委員会
業務方針	<p>推薦業務の適正化、合理化、デジタル化を推進する為、 推薦様式(ニチラネット経由)変更に伴い、規則の見直しをする。</p> <p>1) 用紙申請からニチラネット申請への移行 2) ピストル推薦基準の見直し</p>
<p>委員長 大野 明敏</p> <p>副委員長 田中 僚一郎</p>	<p>栗山 公秀 、 大川 正視、 伊藤 恵一 田中僚一郎 、 高田 義三、 中里 志隠</p>

No 3	国体委員会
業務方針	<p>国内の大会運営がグローバルスタンダードとは大きく乖離していることが、東京オリンピックの準備作業から明らかになってきた。国内へグローバルスタンダードを普及させるためにも国体は率先してその導入を図らなければならないと考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 競技運営体制の見直し TD・ジュリー・射場役員の体制を整理し、その概念に基づいた運営体制を目指す。</li> <li>2) 実施種目及びスケジュールの見直し 国際大会へつながるように実施種目を精選し、PETをはじめとする大会期間中のトレーニングの導入を図る。</li> <li>3) ファイナル進行の演出の見直し ファイナルが盛り上がるような演出を考え、実施していく。</li> <li>4) 競技施設の見直し なるべくコンパクトな競技施設となるように、地元競技団体・開催自治体実行委員会と誠実な協議を行う。</li> <li>5) イベント事業の導入 BP・BRの体験射撃等のイベントを実施し、将来の射撃スポーツ発展のための啓発、普及を図る。</li> <li>6) 国体隔年開催の回避 「隔年開催」の競技種目にならないよう、JSPOの評価項目について、他委員会との連携を図りながら、協会全体で最大限努力する。</li> </ol>

国体委員変更（案）

2021委員

番号	役 職	氏 名	住所地(所属)
1	委員長 兼 ブロック関係委員（中国）	平井 宏治	広島
2	副委員長 兼 競技運営・ルール担当委員	佐橋 朋木	東京
3	副委員長	松住 英樹	富山
4	C P 種目委員	鈴木 荀一	愛知
5	C P 種目委員	長宗 祐二	埼玉(東京)
6	女子種目委員	松島 愛	東京
7	ブロック関係委員（東北・北海道）兼 80 回開催地委員	寺澤 良悦	青森
8	ブロック関係委員（関東）	田中 僚一郎	埼玉
9	ブロック関係委員（北信越）兼 82 回開催地委員	横沢 聡	長野
10	ブロック関係委員（東海）	尾崎 和郎	愛知
11	ブロック関係委員（近畿）	高橋 信吾	京都
12	ブロック関係委員（四国）	山下 晃弘	香川
13	ブロック関係委員（九州）	仲本 渚	沖縄
14	学連関係委員	三木 容子	東京
15	高校関係委員	五十嵐 治人	茨城
16	障害者射撃関係委員	田中 辰美	山口
17	マスターズ種目委員	萩原 一孝	静岡
18	競技運営・ルール担当委員		
19	国際審判関係委員	酒寄 貴瀬	千葉
20	後催地委員（第 75 回 鹿児島県）	帖佐 徳人	鹿児島
21	後催地委員（第 76 回 三重県）	田中 敏夫	三重
22	後催地委員（第 77 回 栃木県）	谷津 義男	栃木
23	後催地委員（第 78 回 佐賀県）	高柳 喜人	佐賀
24	後催地委員（第 79 回 滋賀県）	杉 章男	滋賀
25	後催地委員（第 81 回 宮崎県）	川崎 清次	宮崎
26			

No4	選手強化本部
業務方針	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手強化の全体方針の決定</li> <li>・選手強化委員会、ジュニア育成委員会との連携、調整</li> <li>・選手強化全般についてのコンプライアンスチェック</li> <li>・助成金、補助金の適正使用及び処理のチェック</li> <li>・強化事業全体の予算進捗チェック</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手強化委員会及びジュニア育成委員会の連携を図り、発掘からトップまでの一貫育成強化体制を構築し、2024 パリ大会、2028 ロス大会でのメダル獲得を目指す。その達成のために各事業の効果を検討し、評価を行う。</li> </ul>
<p>本部長 松丸 喜一郎</p> <p>副本部長 田村 恒彦</p>	<p>横山 幸子、袴田 登喜造、大野 明敏、三木 容子、小風 明、 佐橋 朋木、</p>

No 5	選手強化委員会	
業務方針	<p>目的 2024 パリオリンピック競技大会でのメダル獲得を目指して、新強化戦略の基に新たな体制で臨む</p> <p>目標 2024 パリ大会でのメダル獲得</p> <p>選手強化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①国内拠点としてのNTC射撃場を主軸にした選手強化</li> <li>②海外主要大会への派遣及びQPの獲得</li> <li>③新外国人コーチの登用による選手強化</li> <li>④NTCでの強豪国チーム招聘等による合同合宿及び海外強豪拠点国での合同練習</li> <li>⑤医科学的サポートによる競技力向上とコンディショニングの強化</li> <li>⑥アスリートの保護及び選手の「人間力向上」と「コンプライアンス強化」、スポーツ・インテグリティの指導</li> </ul>	
委員長 田村恒彦  副委員長 三木容子 磯部直樹 上之園正一	ライフル部会 部会長 磯部直樹	ゴラン・マキシモビッチ 源 洋子、佐橋朋木、藤井 彌
	ピストル部会 部会長 上之園正一	エミール・ドシャノフ 中重 勝、木田知宏、作本諭寛、 谷 英喜、藤井 彌
	医科学情報部会	内田繕博、樺島 司、枝川 宏 小野 聡、高橋浩子、能瀬さやか、 酒寄貴瀬、飯塚武人、吉野祐子 柴山恵美子
	パラリンピック部会 部会長 田中辰美	長谷川勝壽、田口亜希、羽田順一、猪坂 桂

No 6	ジュニア育成委員会	
業務方針	<p>目的：2028年ロサンゼルスオリンピックでのメダル獲得を目標に、2022年以降に国際大会で活躍する有望選手をカテゴリー別（ノービス、カデット、ユース、ジュニア、ユニバ）に発掘・育成する。</p> <p>目標：・育成アスリートをナショナルチーム選手に育成する。 ・ジュニアワールドカップ、ワールドユニバーシティゲームス等国际大会でのメダル獲得並びに入賞。</p> <p>① 育成アスリート関連 ・育成アスリート選考に関する要綱検討</p> <p>② 発掘・育成事業関連 ・ナショナルタレントの発掘・育成・競技力向上 ・アスリートパスウェイ事業との協働 ・一貫育成事業の推進（ハブ、TID 協働等） ・競技技術情報の提供 ・アンチドーピングを含むインテグリティ教育の推進</p> <p>③ エリートアカデミー関連 ・エリートアカデミー選手の育成・強化 ・エリートアカデミー選手の国内外派遣</p> <p>④ジュニア世代育成機材の開発研究 ・ビームライフル後継機の検討 ・ビームピストルの改良</p>	
委員長 三木 容子 副委員長 成山 悟史 副委員長 木田 知宏	ライフル育成部会 部会長 成山 悟史	富本 佳照、磯部 直樹、新宮 由貴 齊藤 政之、三浦 繁、田村 達、松島 愛 松田 信義、武川 正一、仲本 渚 津場 恭平、浦上 恭介
	ピストル育成部会 部会長 木田 知宏	三野 卓哉、エリック・エグルト 内田 繕博、塚田 竜規 角谷 理沙、田山 和子

No 7	競技運営委員会	
業務方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G 1, G 2, G 3 + の競技会のグレードに合った射撃場の選定と運営 分散・リモート大会試合の運営と参加しやすい試合・見せる試合をベースとした大会企画。大会グレードにあった審判員配置と役割の明確化による運営しやすい試合の構築</li> <li>・ SNS による告知・動画配信の実施によりマーケ・普及とも連動した大会運営を行う 視聴者の興味を引けるように、照準軌跡を動画配信できるような仕組みを作る</li> <li>・ オリ・パラ一体の思想の元、日本障がい者スポーツ射撃連盟と協働し、健常者競技大会へのパラ選手出場を円滑に実施する方策を策定する。すでに全国通信 AR・AP リモート大会・全日本 BR・クラブ対抗などは実施しているが、本年度は 2022 年 3 月開催の全日本 (AR/AP) でも実施するべく準備を行う</li> <li>・ MIX 種目ならびに団体種目の実施に向けた試合企画を行う</li> <li>・ 若手審判員・TD の育成。国内試合の若手派遣とともに、ISSF 主催試合への若手審判員派遣を実施する</li> <li>・ 3 年に一度の審判員資格更新時に新ルール知識定着の確認（考査）を実施する</li> <li>・ 審判員のレベルアップ並びにレベル統一のため、年 1 回の審判講習会の内容を見直し、課題演習などオンライン参加型講習会に変更し、審判の資質向上を目指す（参加人数の増加、事務局負担軽減、経費削減を目指す）</li> <li>・ ワンタイムオンリー検査の主管団体への移管</li> <li>・ 電子標的再公認料及び記録登録料（仮称）の検討</li> </ul>	
委員長 佐橋朋木	競技企画部会 部会長 鈴木慎平	田中辰美、鈴木慎平、深澤佑樹、岡田亜美、谷川諒、井手悠太、原田誠矢、中村彩乃、野畑卓宏
副委員長 田中辰美	競技運営・審判部会 部会長 岡田亜美	栗生由紀、鈴木慎平、深澤佑樹
	認定部会 部会長 尾崎和郎	栗生由紀、鈴木慎平、深澤佑樹、劉炫慈
	記録部会 部会長 栗生由紀	谷川諒、井手悠太
	段級部会 部会長 田中辰美	谷川諒、劉炫慈



No 8	普及・生涯スポーツ委員会	
業務方針	1. 普及事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフル射撃スポーツの普及事業支援</li> <li>・社会貢献事業として高齢者施設等での体験射撃の実施</li> </ul> 2. 生涯スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 ワールドマスターズの対応</li> </ul> 3. 指導者育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・JSP0 公認コーチ及び NRAJ 認定コーチの養成</li> </ul>	
委員長 永谷喜一郎  副委員長 大木盛義	普及事業部会 部会長：栗生由紀	三野 卓哉、木田 知宏、 富本 佳照、古澤康久、 新宮由貴、平澤 卓也、
	生涯スポーツ部会 部会長：出来可也	
	指導者育成部会 部会長：大木盛義	

No 9	マーケティング委員会
業務方針	<p>目標：支持層の拡大と収入の多様化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支持層を拡大する（デジタル対応プロジェクト） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル射撃のシステムを設計する <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 担当者を採用する（副業）</li> <li>➢ パナソニック等の関連機関と調整して、デジタル射撃の国際的なシステムを設計する</li> <li>➢ 2～3年かけてオリンピックの新種目とすることを目指す</li> </ul> </li> <li>・ E-sports で裾野を広げる <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 担当者を採用する（副業）</li> <li>➢ 世界的なゲームメーカーと連携して裾野を広げ、支持層の大幅な拡大を目指す</li> <li>➢ ゲームの裾野を e-sports に繋げる仕組みを作る</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. 収入を多様化する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふるさと納税を新たな収入の柱とする <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 本人に負担なく（上限 2 千円）協会に寄付することができる制度なので、丁寧に積み上げ、会員に広げる</li> <li>➢ まずは、役員から、全員参加を目指してコアを固める</li> </ul> </li> <li>・ 選手の雇用主を増やす <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 雇用主はスポンサーでもあり、重要な支援者</li> <li>➢ 経済同友会の「JOC アスナビプログラム」（9 月）に参加する</li> </ul> </li> <li>・ スポンサー収入を得る <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ エンブレムやロゴ掲載の広告を継続する</li> </ul> </li> <li>・ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 寄付のメニュー拡大を検討する（例、奨学金、遺贈）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メディア価値の向上（Twitter, YouTube 対応）</li> <li>・ CSR 活動（予防医学への活用、共生スポーツ）など</li> </ul> </li> </ol>
<p>委員長 近藤正晃</p> <p>副委員長 金井 玄（打診中） 佐橋 朋木</p>	<p>袴田 登喜造、成山 悟史、松島 愛、田口 亜紀、 大木 盛義、平澤 卓也、栗生 由紀、谷川 諒</p>